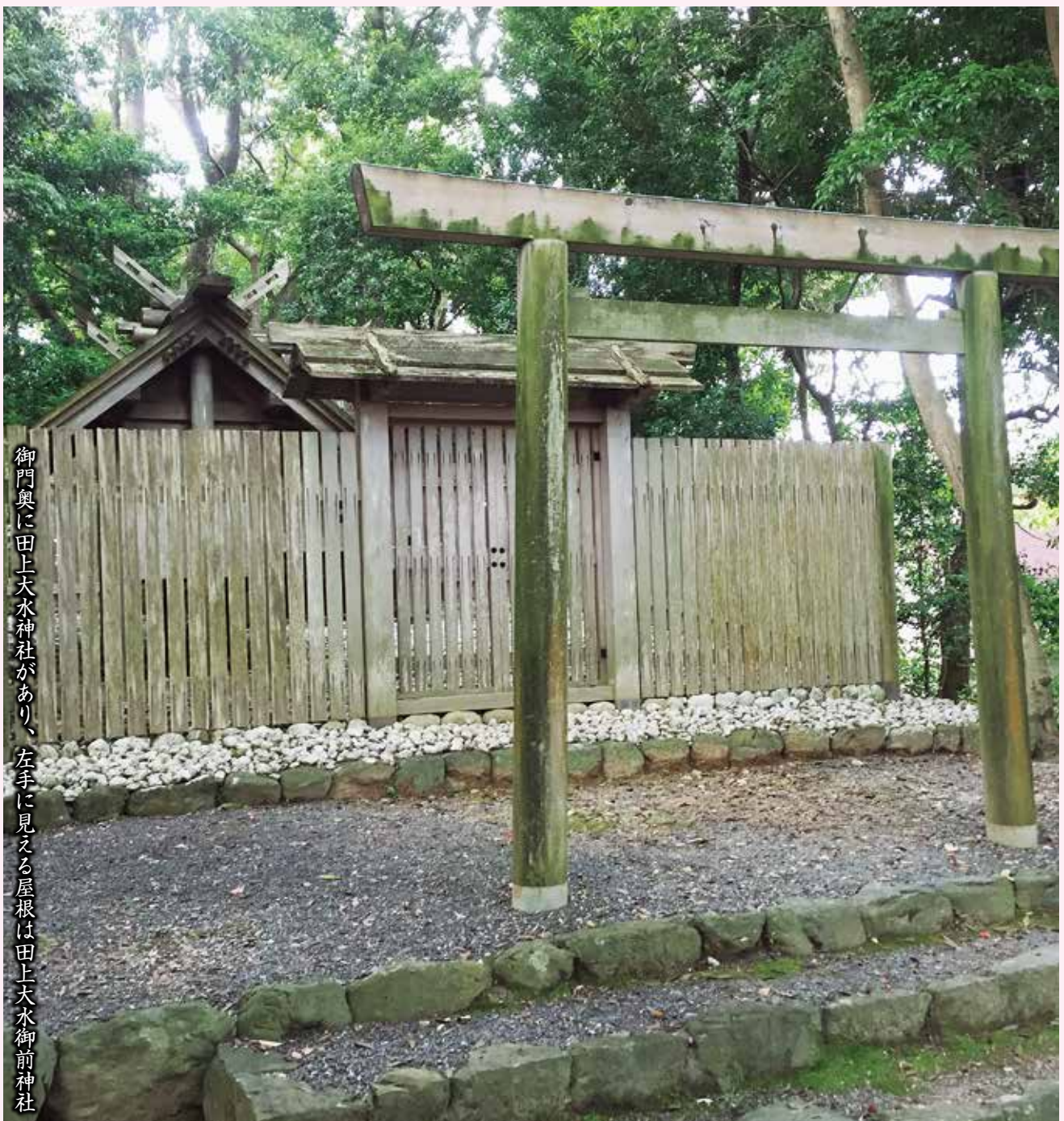


法友 *For You* 2021. 1 No.57

【発行】(公社)伊勢法人会 女性部会広報委員会
〒516-0037 三重県伊勢市岩渕1丁目7-17
伊勢商工会議所5階
TEL 0596-28-5665 FAX 0596-24-8315



御門奥に田上大水神社があり、左手に見える屋根は田上大水御前神社

謹んで新年のご祝詞を申し上げます



部会長
伊藤 由美子

昨年は、コロナ禍の影響を受け、公私共に大変な一年を過ごされたことと思います。女性部会におきましても、夏休み親子映画会を初めとする多くの事業の中止を余儀なくさせられました。しかしながら、そんな中だからこそ、税の大切さを痛感し、できうる限りの範囲で実施した事業もありました。

れもひとえに部会員の皆様をはじめ、親会の皆様、税務当局の皆様のご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。昨今、少子高齢化、人口減少、次世代を担う働き手の減少と、かつてない困難な時代を迎え、企業経営者にとって新たな発想による改革が求められています。一方、コロナ禍の中で、リモートワークなどを通じて、新たな視点を見出すということも経験しました。

女性部会といたしましても、コロナ禍の中にあっても、皆で知恵を出し合って、地域への貢献活動としての法人会活動に邁進していきたいと考えております。税務当局の皆様、親会の皆様、本年もよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸、そして企業の繁栄、地域社会の発展を祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



税に関する絵はがきコンクール

十一月一日、コロナ禍の中心感染症対策を行い税金展が開催され、税に関する作品の展示と税連協主催の「税に関する作品合同表彰式」が行われました。

租税教育活動の一環として税に関する絵はがきコンクールに取り組んでいます。今年度はコロナ禍という事もあり事前に学校訪問をしておろができなかったにもかかわらず、十二校四二二点もの応募がありました。その中から、最優秀賞に有緝小学校の山口優亜さんをはじめ各入賞者や学校賞を決定し表彰いたしました。

税金展は例年と違って三密を避けるため、一階で作品の展示、二階で合同表彰式という形式で開催し、合同表彰式には例年を超える沢山の方々に出席していただきました。応募された絵はがきは十一月二日から九日まで伊勢市役

令和2年11月1日(木) 於：いせシティプラザ



所で入賞作品のみを展示し、全応募作品は十一月四日から二十五日まで鳥羽一番街、二十五日から十二月二十一日までぎゅーとらハイジール店に展示させていただきます。

時の人



★出身・生年月日

出身は静岡県清水区で、子供の頃は、平成二十五年に世界文化遺産に登録された三保の松原がある三保半島で、海水浴や釣りなどをして過ごしました。

静岡市は、三保の松原を始め日本平や久能山東照宮など、富士山がとて綺麗に見えるスポットが多いのですが、住んでいる時は富士山が見えるのは当たり前で、それほど意識していませんでした。今は岐阜に住んでいるので、実家に帰省するたびに、子供と富士山を見るのを楽しみにしています。

最近では新型コロナウイルスの影響で、残念ながら静岡で富士山を見ていませんが、静岡は気候が温暖で観光地も多いので、皆さんも機会がありましたら一度訪ねていただけたいと思います。

生年月日は昭和四十二年十一月十四日です。

★家族構成

妻と、高校二年生の長男、小学六年生の長女の四大家族です。

★伊勢に来ての感想

三重県の勤務は、二年前に四日市税務署に一年間勤務しましたが、伊勢で二度目となりますが、今回は単身赴任となりました。

伊勢は、海の幸が豊富で、食べ物がとても美味しいですね。私は魚が好きなので、海のものが美味しいのはとてもうれしいです。それから、伊勢は、伊勢神宮を始めとした歴史と伝統のある地域ですが、実際に住んでみると、それを肌で感じる人が多いです。毎朝、伊勢市駅から外宮参道を歩いて通勤していますが、いつも独特の澄んだ空気があります。

★伊勢に来る前の仕事

前任は、名古屋西税務署の特別国税調査官で、法人税の調査を担当していました。

★趣味

趣味は特にありませんが、今回の転勤で単身赴任となり、アイロンがけに凝っています。大きめのアイロン台を用意したのですが、ワイシャツを一枚仕上げるのに、かなり時間がかかっています。その他には、趣味とはいえませんが、甘いものが好きです。伊勢は和菓子もおいしくて、有名なお餅は一通り食べましたし、ういろや羊羹などもよく食べます。特に季節限定商品にハマっていて、これからは伊勢のおいしいお菓子を食べるのを楽しみにしています。

★座右の銘

好きな言葉は「二所懸命」です。仕事や私生活でいろいろなお仕事がありますが、その時に自分ができることを精一杯やれば、結果はどうであれ、充実した日々を過ごせるのではないかと思っています。

★心がけていること

メリハリをつけることです。常に頑張ることはできないので、何かをやる時は集中してやって、終わった後何も考えないでポロっとしながら充電しています。

それから、相手の話をよく聴くことも心がけています。自分勝手な思い込みで判断をしないように、相手の話や意見をよく聴いてから考えるようにしています。

★印象深い仕事・勤務地

国税局調査部で大規模法人の調査を担当したことです。日本を代表する大企業の調査をしたことは、大きな経験になりました。

また、国税局資料調査課で調査困難事案を担当したことも、とても貴重な経験でした。悪質な納税者の不正経理を把握するため全国各地へ出張しました。時には元従業員の方に連絡したら、不審者と間違われて警察に通報されたこともあり、いろいろな経験をすることができました。

★伊勢法人会女性部会へのメッセージ

三重県で最も会員が多い女性部会で、幅広い活動を積極的に行っていただいております。非常に心強く感じています。今年度は新型コロナウイルスの影響で、残念ながら「夏休み親子映画会」が中止になるなど、計画どおり会活動を実施するのが困難な状況ですが、多くの制約がある中でも、「税に関する絵はがきコンクール」や「税に関する絵はがきコンクール」などの活動に前向きに取り組んでいただいております。

★今後の女性部会へ一言

今年度は、新型コロナウイルスの影響で会活動に参加させていただく機会が少なく残念ですが、当署も引き続きバックアップさせていただきますので、今後も女性部会の熱心な取り組みで伊勢法人会の活動がより一層充実したものとなることを期待しています。



審査会の様子です



真剣に選考中

租税教室講師養成研修

令和2年9月18日(金)

於：伊勢税務署大会議室

九月十八日、租税教室講師養成研修が行われました。女性部会からは、十三名の参加があり、研修を受けました。その後、税務署長様から委嘱状の交付を受けました。



グループ別税務研修会に向けて

令和2年11月13日(金)

於：伊勢商工会議所

十一月十三日、役員会の後、税務署の白石統括官、佐藤上席を講師にお迎えして十二月七日のグループ別税務研修会開催に向け事前勉強会を行いました。今年度は、新型コロナウイルスの影響でテーマ数や参加人数を減らし、書記をなくしたため、事前勉強会は、座長・発表者を含め十数名で、テーマに合わせ、税務署の方々に一つ一つ丁寧に説明して頂きました。たくさんの方々の資料をご用意していただきありがとうございました。





租税教室勉強会

令和2年10月12日 於：伊勢商工会議所

今年度は、十一月から管内小学校に租税教室で訪問するため、例年より早く十月十二日に租税教室勉強会を開催しました。コロナ禍の中での開催で少し心配もありましたが、四校の依頼がありました。事前勉強会では、授業の進め方、使用する資料、担任教諭との打合せなどについて説明を受けました。

会員募集中

伊勢法人会女性部会員を募集しています。
女性部会へ参加して税の知識を深めて、
色んな場面に役立てましょう。
詳しくは、事務局までお問合せ下さい。

納税表彰式

令和2年11月12日 於：伊勢税務署

おめでとうございます

★伊勢税務署長表彰

夏山金屬株式会社

夏山 順子



(敬称略)

伊勢法人会 検索

<https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/ise/>

クリックして
ホットな情報をご覧ください

令和3年2月

署長講話

伊勢商工会議所5階・大ホールにて開催します。
多数の御参加お待ちしております。

※新型コロナウイルスの感染状況により変更する場合があります

太神宮 あちこち

第12回

田上大水神社・ 田上大水御前神社(下)

神宮禰宜 石垣 仁久

三

車塚一号墳の被葬者が神主
小事と、その娘宮子であるか
どうかは、考古学的な確証が
無く判然としません。しかし、
度会氏四門の氏人がその祖と
して長く祀っていたところか

贅とは神への海川山野の供
え物のことです。特に魚介類
を指すことも多く、外宮から
海浜に連続した川というイメ
ージが御贄川にはあったのだ
と思います。

ら、被葬者が度会氏とまった
く無関係であったとは考えら
れません。被葬者が誰であつ
たか、それは永遠の謎として、
田上大水神社が度会四門の氏
人にとつて重要な社であつた

御贄川は後に尾部川、小田
川と呼ばれ、また紅葉が映え
る意から錦の流れ、錦水とも
称されました。その流れは、
外宮の御料地であつた豊宮崎
の神田を潤しました。度会氏
は、遠い昔に、豊宮崎の田を

ことは、外宮の撰社でありな
がら、建て替へは公費ではな
く、四門の氏人が私費で行つ
ていたことから窺えます。

所有することを得まし
た。ゆえに、御贄川は度会氏
にとつては生命の水とし特別
な存在であり、流域では度会
氏の先祖祭である山宮祭が営
まれ、また二門の氏人は宮崎
氏神社を祀っていました。

丸山の前を流れている勢田
川は、古くは御贄川と呼ばれ
ていました。河川は常に流れ
を変えらるものなので、現在の
勢田川がそのまま御贄川とは
言えませんが、外宮近辺から
海に向かう流れであることに
は古今相違はありません。

御贄川に関する度会氏の伝
承で最も興味深いのは、平安
時代初期の貞観元年(八五九)、
外宮大内人高主の十五歳にな
る娘が御贄川で行方不明とな

り、代わりに童形の妙見菩薩
像が出現した話です。その像
を祀ると、度会氏は男子に恵
まれたといえます。度会氏が
妙見町(現在の尾上町)に祀つた
妙見堂は一名を岡崎宮とい

り、遠い彼方に御贄川に消え
たひとつの少女の命があつた
ことは、何か深い由縁がある
に違いありません。

四

い、明治維新まで存在してい
ました。現在岩渕三丁目にあ
る妙見堂はそのなごりです。
妙見菩薩は、北極星または
北斗七星を神格化した天部の
仏で、五世紀頃の中国におい
て、北極星を天帝とする道教

例によつて内宮の藺田守良
神主は『神宮典略』で、度会
氏が己の祖である小事を外宮
の撰社に祀ることは、「おほ
けなし」すなわち身分不相応
であり、田上神社は別の場所
にあつたのだと主張しました。

の信仰と、仏教の菩薩信仰が
融合したといわれています。
日本には七世紀頃、渡来人に
より伝えられ、各地に妙見信
仰が広まったようです。

この問題を解き明かす鍵と
なるのは、社殿がどこにあつ
たのかではなく、どこで何に
対しての祭祀がなされたかな
のです。恐らく、田上大水神
社は、古くから神田の水神と
して丸山で祀られていたので

当初、妙見菩薩は「威力あ
る新しい神」として受容され
たと思われませんが、度会氏は
宮川と、数多くの支流の水利
を掌握した一族とすると、北
天で不動の輝きを放つ北辰、
すなわち北極星には、少な
らず関心が深いものがあつた
のでしよう。

前記の『神名祕書』は、祭
神を大神主小事霊としなが
ら、「東田上、西大水。御前社
在り」と記していますので、
鎌倉時代の度会神主たちに
は、田上と大水という二神を

た。ゆえに、御贄川は度会氏
にとつては生命の水とし特別
な存在であり、流域では度会
氏の先祖祭である山宮祭が営
まれ、また二門の氏人は宮崎
氏神社を祀っていました。

りほど高い丸山は、先祖祭祀
の祭場としても最適だったは
ずです。やがて別々の二つ祭
りが一つとなった可能性があ
ります。

六。そして現在、田上大水神社
は、周囲の宅地化に伴つて、
人々から「丸山さん」と呼ば
れ、鎮守社のように慕われ、
七月の町内会の夏祭りでは神
輿渡御が行われています。

そのあたりの詳しい事情は
手がかりとなる史料が無いの
で断言は避けませんが、一族繁
栄の基層に北辰妙見信仰があ

五。六世紀の古墳時代後期
の遠い昔から、今でも「丸山
さん」は豊宮崎の地を見守つ
ているのです。

そのあたりの詳しい事情は
手がかりとなる史料が無いの
で断言は避けませんが、一族繁
栄の基層に北辰妙見信仰があ

五。六世紀の古墳時代後期
の遠い昔から、今でも「丸山
さん」は豊宮崎の地を見守つ
ているのです。